

第69期定時株主総会（開会）

2019年 6月 25日
日本アビオニクス株式会社



議決権保有株主様 **2,766名**

議 決 権 数 **28,158個**

基 準 日 **2019年3月31日**

**お手元の招集ご通知
「28～29ページ」を
ご覧ください。**

報告事項

1. 第69期(2018年4月1日～2019年3月31日)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第69期(2018年4月1日～2019年3月31日)計算書類内容報告の件

経済環境

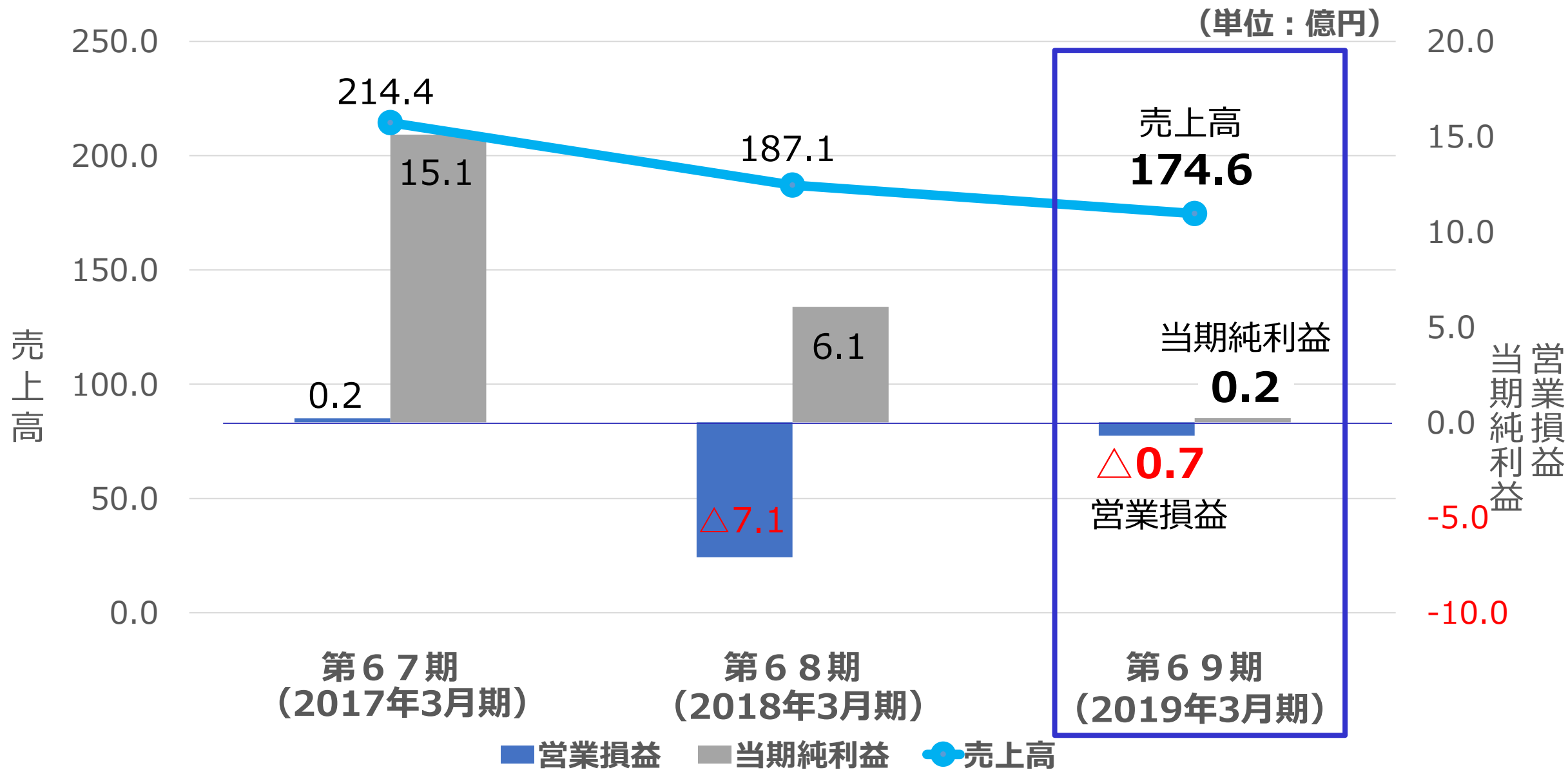
- ↑ 雇用・所得の改善
- ↓ 設備投資の抑制
- ↓ 地政学リスク
- ↓ 中国・欧州景気が減速

事業環境

- (宇宙・防衛市場)
- ↓ 国内調達の減少
- (民需市場)
- ↓ スマートフォン市場の低迷

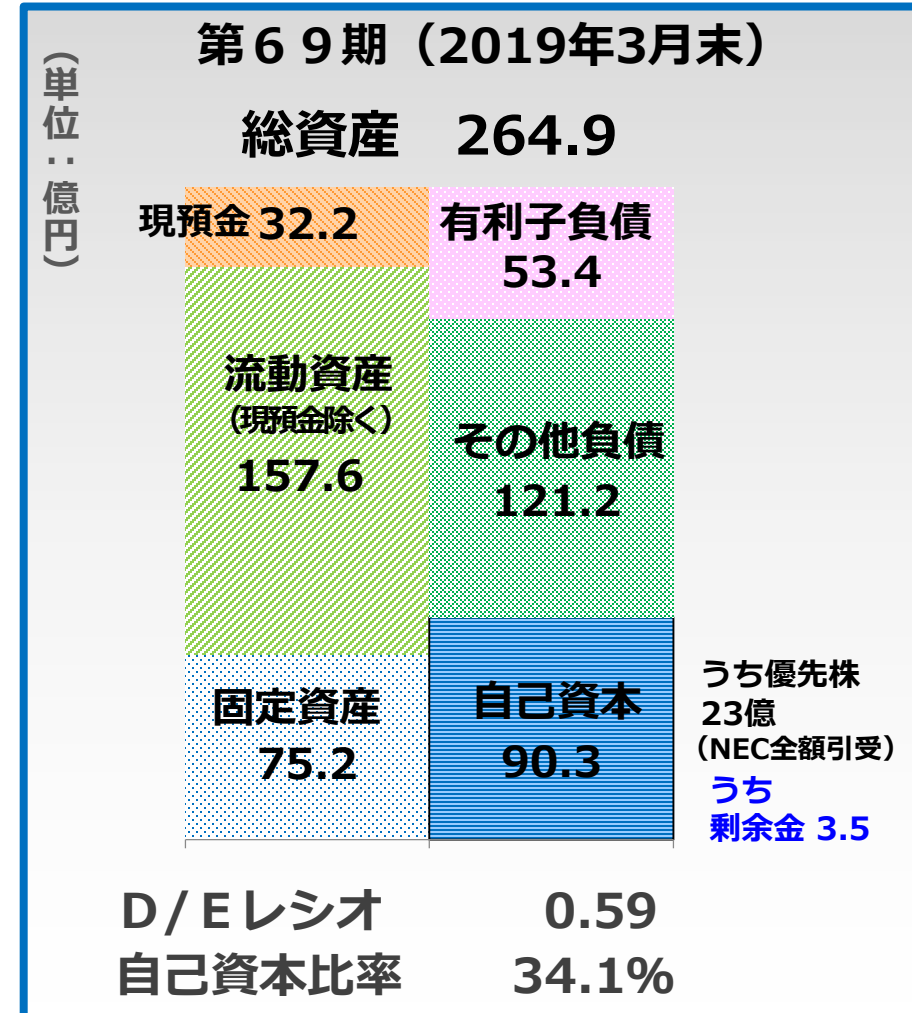
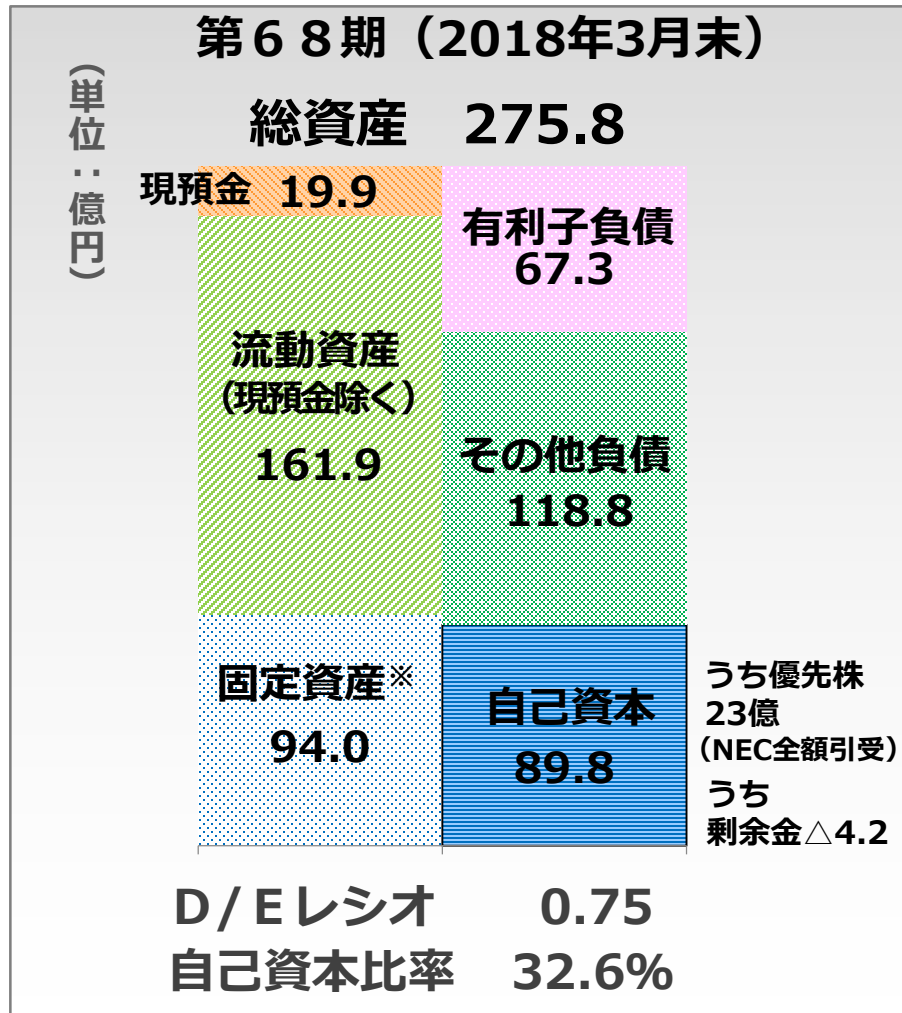
自動車部品市場向け新製品投入
プリント配線板事業移管完了
旧山梨アビオニクスの敷地一部譲渡完了

連結業績サマリ



連結貸借対照表

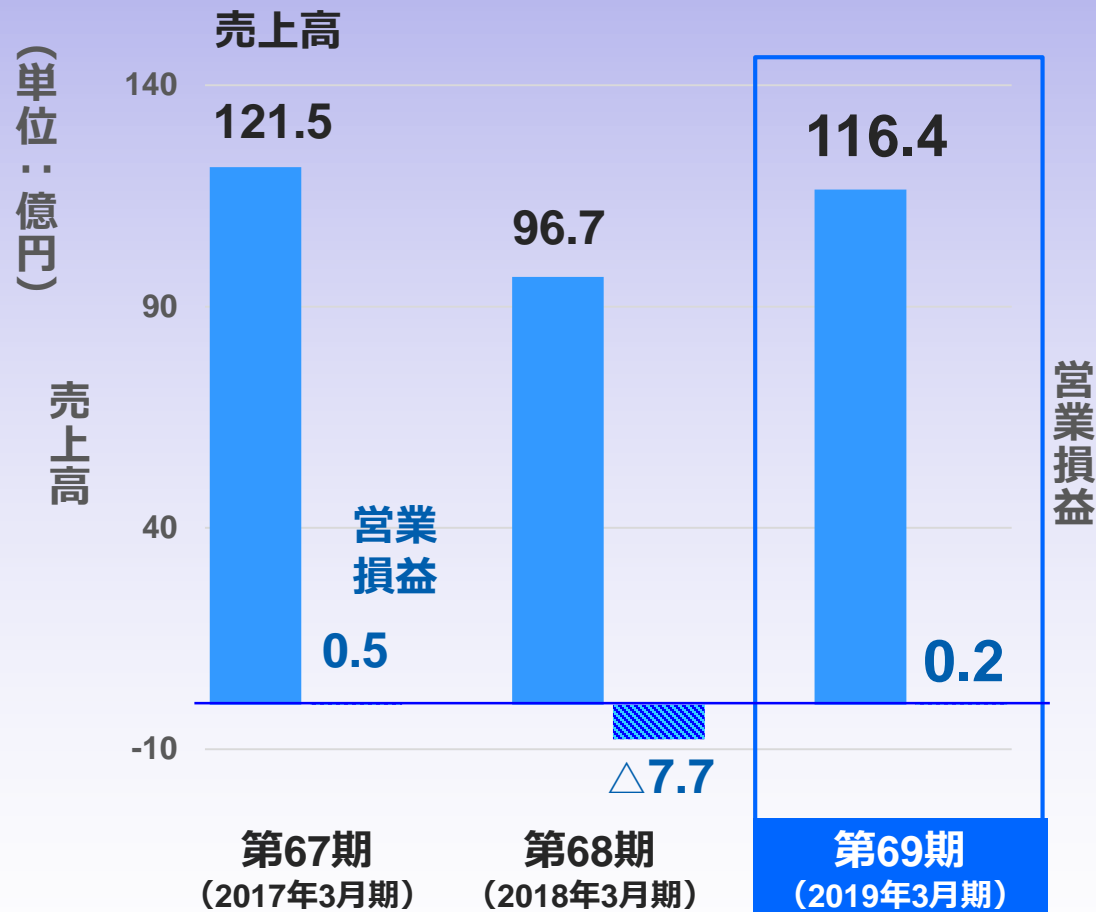
- 剰余金が2011年3月期以来のプラスとなる
- 流動資産/固定資産を圧縮、有利子負債削減によりD/Eレシオが大幅改善



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を第69期の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。比較のため第68期についても同様に表示しております。

**計算書類につきましては
お手元の招集ご通知 2 3 頁から 2 5 頁に
記載の通りであります**

**利益剰余金の累積損失は解消したものの
業績および財務体質の強化などを
総合的に勘案して、
まことに遺憾ながら
無配とさせていただきたく存じます**



売上

- ・ 防衛省の国内調達が低調な中、艦艇搭載情報表示事業が伸び売上高増加

損益

- ・ 上期は一部の不採算プロジェクトにより損失計上
- ・ 下期は売上高の増加およびプロジェクト管理の強化により通期で黒字確保

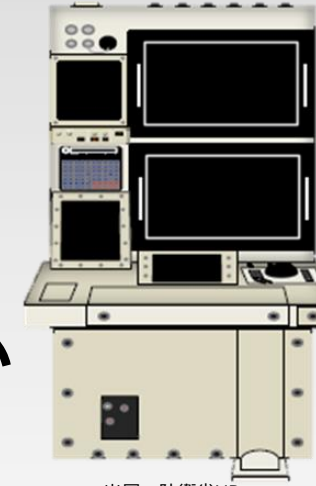
情報システム トピックス

艦艇搭載情報表示事業の売上大幅増！

- ・主力製品である、艦艇搭載情報表示装置の契約増により業績大幅改善

⇒新造艦艇への搭載用

⇒旧型製品から最新型製品への更新・置換ほか



出展：防衛省HP
艦艇搭載用情報表示装置 イメージ



出展：防衛省HP



出展：防衛省HP



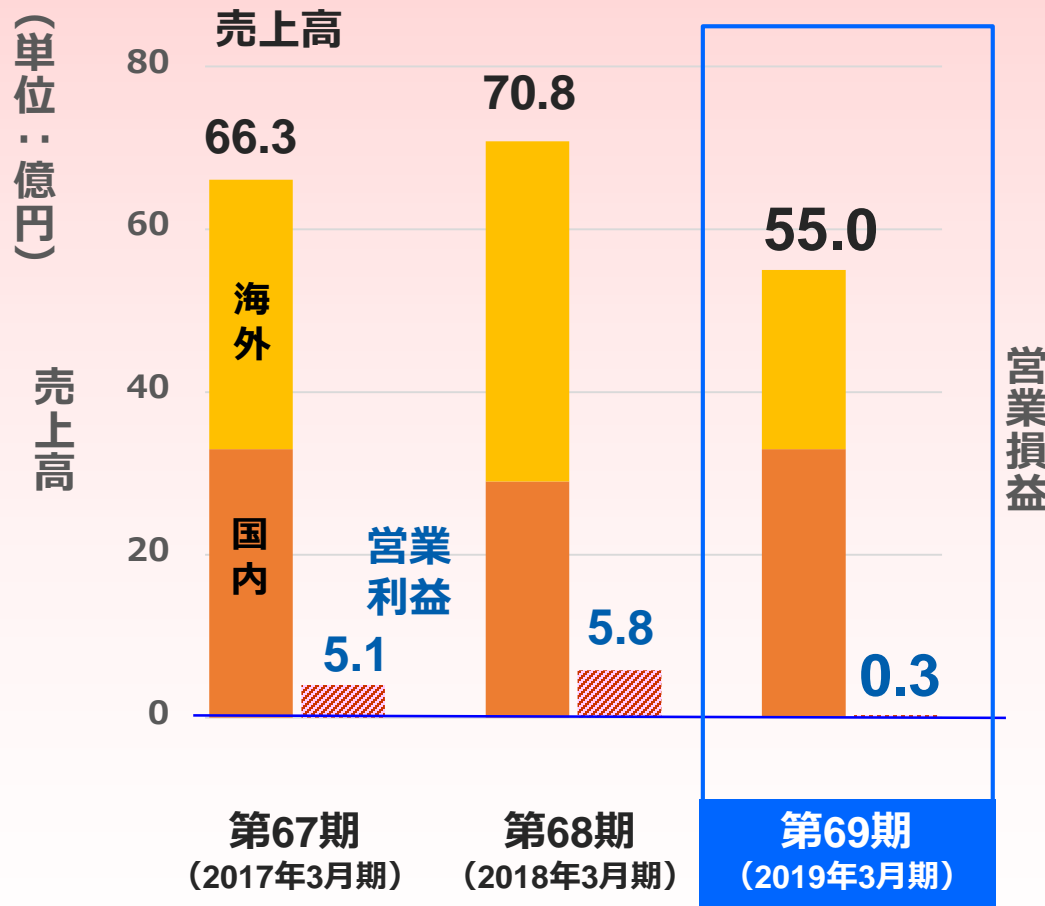
出展：防衛省HP

- ・次世代型 護衛艦向け情報表示装置の受注獲得

⇒艦艇搭載情報表示事業の基盤強化



出展：防衛省HP



売上

接合機器

- ・海外はスマートフォン市場の想定外の急減速、米中貿易摩擦の影響により中国向けを中心に大幅減少

- ・国内は自動車部品市場向けが増加

赤外線サーモグラフィ

- ・ポータブル機器は景気不透明感に伴う商談先送り等により減少

- ・監視システム/特殊計測は需要増により増加

損益

- ・売上大幅減の中で黒字確保

部門別 電子機器

接合機器 トピックス

得意とする接合事例の水平展開で自動車部品市場攻略
 電動化、自動化により変化する部品に顧客価値提案



モータ端子ヒューズリング接合

- **車載モータ** モータ端子向けヒューズリング
 高性能電源による接合品質向上！ 抵抗溶接機NRW-IN400P
- **車載ハーネス** 異種材料のケーブルと端子の接続
 独自センサによる溶着品質管理！ 超音波メタルウエルダ SW-3500-20



アルミハーネス・銅端子接合



新製品投入で新たな顧客価値創造へ

超音波発振器 **AVIO独自のATHMOS制御で高速、安定溶着！**
 ラインアップ強化（全5機種）で自動車市場を中心に様々な用途に提案



出力(W) 周波数(KHz)
 SW-D900Sシリーズ 3機種
 SW-D600Sシリーズ 2機種

- | | | |
|-----|---|---------------------------------|
| 自動車 | : | 内装品カシメ、フィルター溶断
電池セパレータフィルム切断 |
| 食品 | : | フードカット、包装フィルム溶断 |
| 日用品 | : | マスク溶断・溶着 |
| 電機 | : | 樹脂製品カシメ ……など |

赤外線機器 トピックス

Ⅰ 差別化製品による顧客価値提案

“巡回点検”から“常時監視”へ！ “ネットワーク型サーモ”

◇高解像度固定設置サーモ TS600

- ・製造ラインでの金型温度管理による品質管理（自動車）



“見る”から“予兆監視”へ！ “アルミ表面の温度計測”

◇金属温度計測サーモ TS300SW

測れなかったところが測れる！

- ・金属材料計測：焼き入れ工程時の温度ムラ管理（金属）



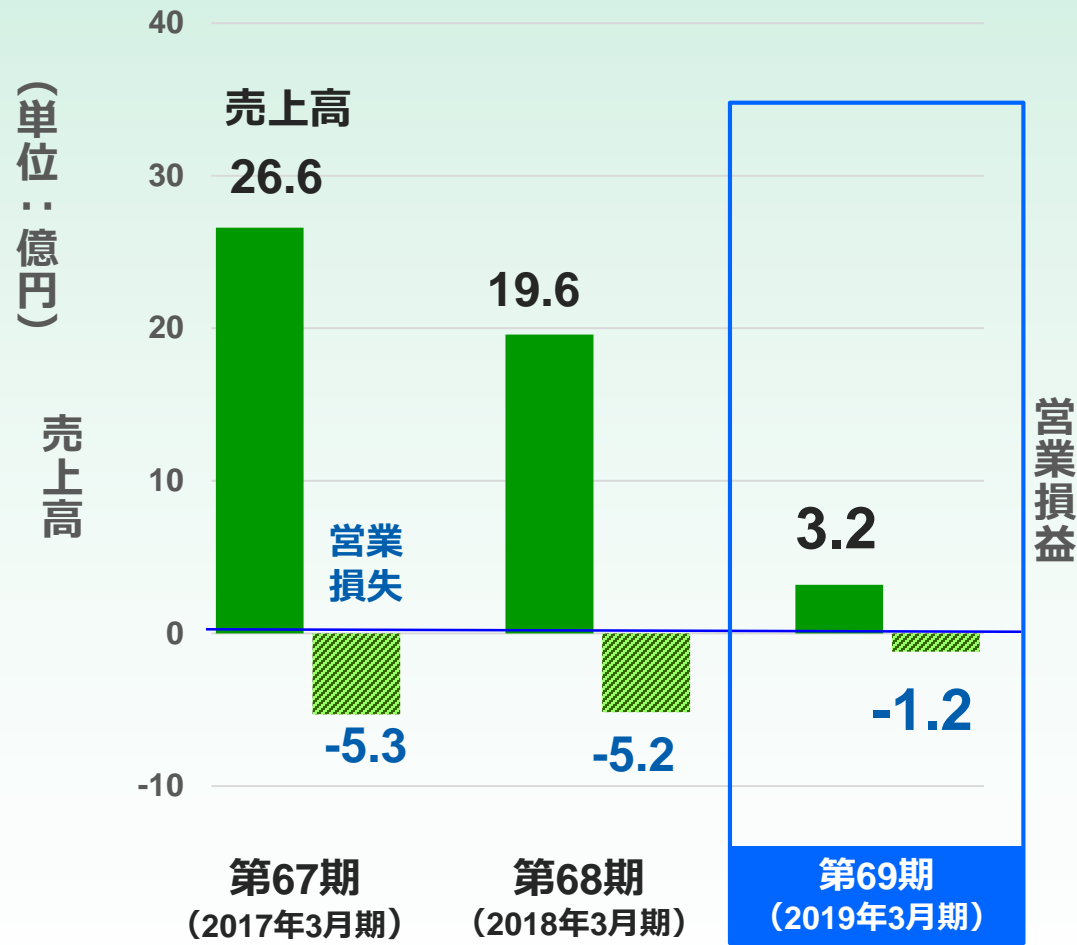
“見る”から“答えを出す”へ！ “微小温度差の測定”

◇高速・高精度計測サーモ H9000

- ・微小温度差計測：ロックインによる故障解析（半導体）



セグメント プリント配線板



- ・ 2016年7月にJR東海リニア計画に伴い事業移管決定
- ・ 2018年3月に山梨アビオニクス※での生産停止
- ・ 2018年度第1四半期にお客様の検収が完了し事業終息

※ 2018年10月1日付で吸収合併

① 旧山梨アビオニクスの建屋解体・更地化

- 建物解体、杭抜き、樹木・舗装の撤去完了
- J R東海による建物等の収去確認実施
- ・ 補償金（最終分）22.1億円入金完了

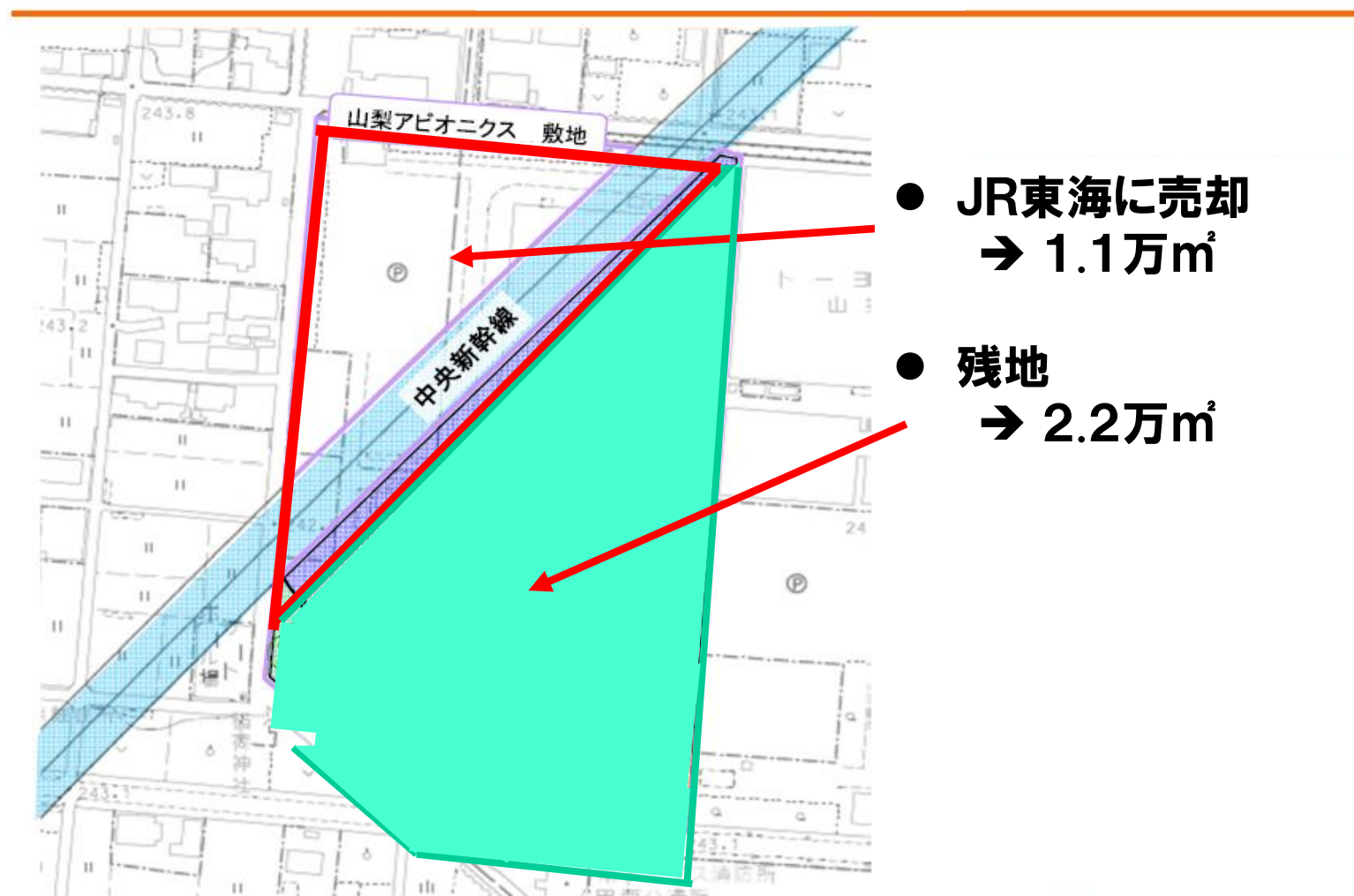
② J R東海への土地譲渡契約の締結

- リニア軌道部および北側の土地をJ R東海へ譲渡
- ・ 譲渡面積：11,423m²、譲渡益：0.3億円

③ J R東海との残地補償契約の締結

- 変形残地に対する価格の減少に対するJ R東海による損失補償
- ・ 補償範囲：22,464m²、補償金額：1.8億円

(参考) 旧山梨アビオニクス敷地



中期経営計画進捗状況

2019年度の業績見通しならびに
防衛市場および民需市場の事業環境の変化に鑑み、
連結財務ターゲットを見直すこととしております。

“顧客価値経営の推進”

ニッチな領域での競争力強化・差別化を推進
2つのセグメントで成長を目指す

情報システム (防衛・宇宙)

- ・ 社会の安心安全に貢献
- ・ リアルタイム処理、耐環境の実績・ノウハウ
- ・ 全社の技術基盤

電子機器 (接合・赤外線)

- ・ 接合4工法を活かした「つける」顧客価値
- ・ 「見えないものを見せる」顧客価値

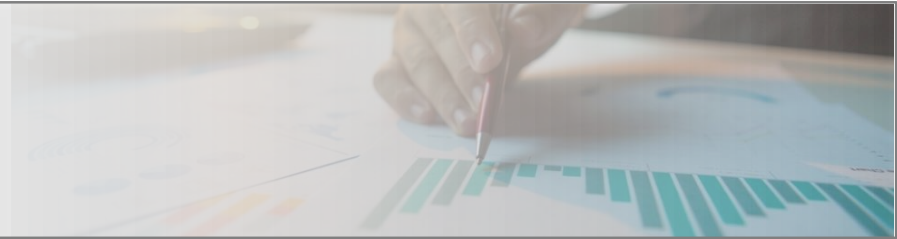
顧客価値提案力の強化



技術基盤の再構築化



Q C D (品質/コスト/納期)の改善



制度・仕組みの改革、働き方改革



2020年3月期 連結業績予想サマリ

(単位：億円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 通期予想	増 減
売上高	174.6	178.0	3.4
営業損益	△0.7	2.0	2.7
経常損益	△1.6	1.5	3.1
当期純利益	0.2	1.0	0.8

地球温暖化防止のための2030年度目標

CO2排出量 2017年度比33%削減

環境CSRレポート発行(2018年10月)



■ 毎年発行

- ・各種環境規制への対応
- ・環境配慮製品の紹介
- ・環境関係の活動の紹介 など

コーポレートガバナンス

- ・コーポレートガバナンスを重要事項として認識
- ・中長期的な企業価値向上を目指す

**以上をもちまして
報告事項のご説明を
終わらせていただきます**

質疑応答

ご質問のある方は挙手をお願いします

**議長がご指名申しあげますので
入場票の番号とお名前をおっしゃってから
要点を簡潔にご発言願います**

第1号議案 取締役7名選任の件

取締役候補者

再任

上田 勇

再任

延岡 健太郎

社外

再任

竹内 正人

再任

望月 愛子

社外

再任

秋津 勝彦

再任

伊藤 茂樹

再任

大久保 智史

第2号議案 監査役1名選任の件

監査役候補者

再任 千 原 真衣子 **社外**

第69期定時株主総会（閉会）

2019年 6月 25日
日本アビオニクス株式会社



**本日はご多用のところご出席賜り
また議事進行に格別のご協力をいただき
誠にありがとうございました**



Avio

www.avio.co.jp